



滝沢ダム10年のあゆみ

～荒ぶる川の恵みを求めて～

滝沢ダムは、昭和40年に予備調査に着手して以来40年以上の歳月をかけて建設され、平成20年4月より管理を開始し、平成30年4月に10年という節目を迎えました。

荒川源流の郷「秩父市大滝」と共に歩んできた滝沢ダムが荒川流域の誰にとっても大切なダムであり続けるように、この10年を振り返り、今後のダムの管理に活かしていきたいと考えています。

滝沢ダムの概要

滝沢ダムは、埼玉県西端に位置する秩父市大滝の荒川水系中津川に建設された堤高132mの重力式コンクリートダムです。総貯水容量は、荒川水系最大の6,300万m³を誇り、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水（埼玉県・東京都）の補給、発電（東京発電㈱）という4つの役割を担っています。

洪水調節の実績

| No. | 生起年月日 | 気象要因 | 最大流入量 | 最大流入時放流量 | 最大流入時調節量 | 流域平均降水量 |
|-----|-----------|---------|---------------------|---------------------|---------------------|---------|
| | | | (m ³ /s) | (m ³ /s) | (m ³ /s) | |
| 1 | H23. 5.29 | 台風 第 2号 | 105 | 40 | 65 | 153 |
| 2 | H23. 9. 1 | 台風 第12号 | 159 | 105 | 54 | 199 |
| 3 | H23. 9.21 | 台風 第15号 | 157 | 105 | 52 | 171 |
| 4 | H24. 6.19 | 台風 第 4号 | 134 | 103 | 31 | 94 |
| 5 | H25. 9.15 | 台風 第18号 | 235 | 1 | 234 | 192 |
| 6 | H25.10.15 | 台風 第26号 | 111 | 1 | 110 | 155 |
| 7 | H27. 9. 9 | 台風 第18号 | 171 | 107 | 64 | 177 |
| 8 | H28. 8.22 | 台風 第 9号 | 316 | 7 | 309 | 118 |
| 9 | H28. 8.29 | 台風 第10号 | 340 | 127 | 213 | 218 |
| 10 | H28. 9.20 | 台風 第16号 | 115 | 100 | 15 | 120 |
| 11 | H29.10.22 | 台風 第21号 | 240 | 1 | 239 | 197 |
| 12 | H30. 7.28 | 台風 第12号 | 150 | 103 | 47 | 186 |
| 13 | H30.10. 1 | 台風 第24号 | 185 | 1 | 184 | 108 |



常用洪水吐きゲートからの放流

平成20年4月から平成30年10月までに13回洪水調節（防災操作）を行い、ダムの洪水調節効果を発揮しております。

地域活性化の取組み ～地域に開かれたダム～

滝沢ダムの所在する秩父市大滝は、全域が奥秩父の山々を中心とした秩父多摩甲斐国立公園に属し、奥秩父は、甲武信ヶ岳や雲取山などがおりなす、たおやかな山岳美を誇っています。また、大滝地区では中津峡の紅葉と渓谷美、日本武尊伝説と関東の霊場として名高い三峯神社などの名所旧跡があり、周辺には道の駅「大滝温泉」や秩父滝沢サイクルパークBMXなどの施設が整備されています。大滝地区では、このような地域が有する自然景観や歴史が織りなす風土を大切にしながら、観光を核として地域振興を推進しています。

滝沢ダムでは、この一翼を担うべく、平成15年2月にダムの利活用を推進し、より一層の地域の活性化を図るため「地域に開かれたダム」に指定され、ダムを一般開放するなど地域の活性化に努めています。

2008 / 2018 10th Anniversary ～これからも荒川流域を守り続けます～



ダム管理開始(平成20年4月)

- ・平成21年度ダム工学会技術賞(滝沢ダム建設事業)
- ・土木学会デザイン賞2010 最優秀賞(雷電廿六木橋)
- ・平成23年度土木学会賞技術賞、IIグループ(滝沢ダムの建設/大規模重力式コンクリートダムの合理化施工とデザイン設計による景観資産の創出)



土木学会賞等の受賞(平成21～23年)



奥秩父もみじ湖(平成23年6月除幕式)



管理後初の Crest 点検放流(平成26年4月)



滝沢にて初の紅葉まつり(平成28年10月)



荒川20%取水制限(平成29年7～8月)



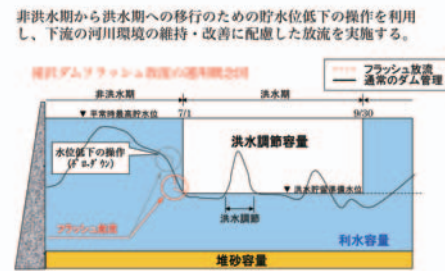
管理後初の満水(平成29年12月)



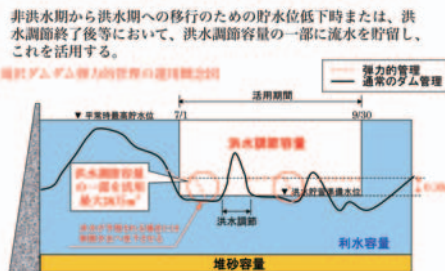
管理10周年(平成30年4月)



4年ぶり Crest 点検放流(平成30年5月)



管理後初のフラッシュ放流(平成30年6月)



弾力的管理の試行(平成30年7～9月)

～奥秩父の豊かな自然とともに～(秩父多摩甲斐国立公園に属す)



荒川は古くからその名が示すとおり「荒ぶる川」で洪水による被害をもたらしてきましたが、その豊かな水量は、流域に多くの恵みをもたらしてきました。

洪水による被害を防ぎ、さらなる恵みをもたらされるよう、今後もダムの役割を確実に果たしていくとともに、地域の人々に親しまれ、地域活性化に貢献するダムとなりますよう、職員一同努力してまいりますので、引き続き滝沢ダムをよろしくお願いたします。